

青葉区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

2025-2026
鶴見川水系河川：鶴見川、早淵川、恩田川、黒須田川、奈良川、布川

この洪水ハザードマップは、鶴見川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



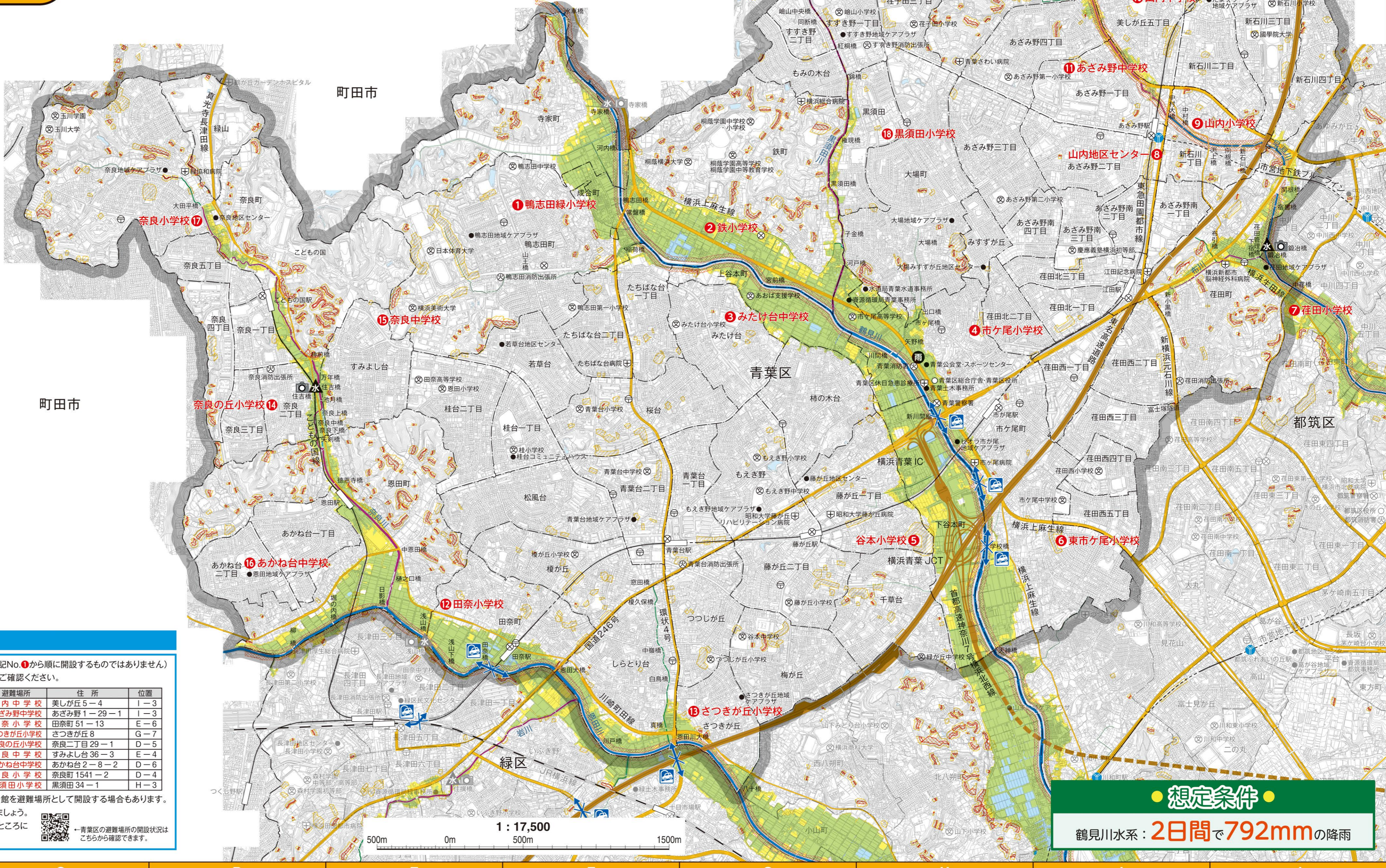
洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの洪水浸水想定区域は、区域の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(2日間で792mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

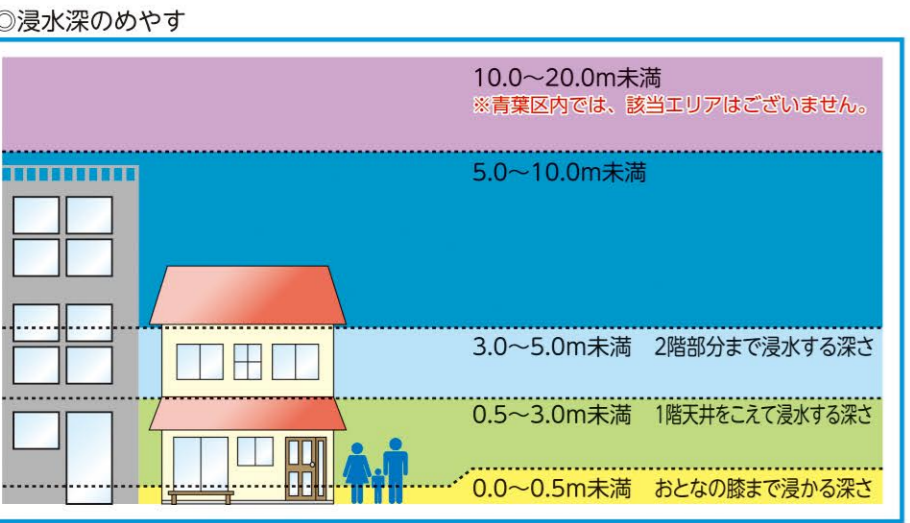
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。実際の浸水深と異なる場合があります。

- ※1 国土交通省関東地方整備局河川事務所ホームページ (https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html)
- ※2 横浜地方気象台ホームページ (https://www.jma-net.go.jp/yokohama/)

情報	出典データ
青葉区	横浜市地形図測図承認番号 3 建設部第 9024 号 横浜市都市計画部都市基盤部データ (縮尺1:2500) により作成
洪水浸水想定区域	鶴見川水系洪水浸水想定区域
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域 (令和4年2月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域 (令和4年2月現在)



凡例 (Explanatory Notes)



- 避難する際に注意する箇所
- 避難所指定区域
 - アンダーパス
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- 風水害時における避難場所について
- 青葉区では下記の避難場所を候補とし、浸水の規模や状況に応じて順次開設します。(下記No.○から順に開設するものではありません) 避難する際は、必ず市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
- | 条件等 | No. | 避難場所 | 住所 | 位置 | No. | 避難場所 | 住所 | 位置 |
|--------------------|-----|----------|-----------|-----|-----|----------|------------|-----|
| 風水害時に開設される避難場所(候補) | ○ | 鶴見川小学校 | 鶴見川532 | F-4 | ○ | 山内中学校 | 美しが丘5-4 | I-3 |
| | ○ | 鉄小学校 | 鉄町427 | G-4 | ○ | あざみ野中学校 | あざみ野1-29-1 | I-3 |
| | ○ | 水ヶ江小学校 | あみが丘30 | G-4 | ○ | 市ヶ野小学校 | 市ヶ野51-13 | E-6 |
| | ○ | 市ヶ野小学校 | 市ヶ野1632-1 | H-4 | ○ | さつきが丘小学校 | さつきが丘8 | G-7 |
| | ○ | 谷本小学校 | 谷本1-55-10 | H-6 | ○ | 奈良の丘小学校 | 奈良二丁目29-1 | D-5 |
| | ○ | 東町小学校 | 市ヶ野519 | I-6 | ○ | 奈良中学校 | すみよし台38-3 | E-4 |
| | ○ | 山内地区センター | 鶴見川694 | J-4 | ○ | あかかね中学校 | あかかね2-8-2 | D-6 |
| | ○ | 山内小学校 | あみが丘2-3-2 | I-3 | ○ | 奈良小学校 | 奈良町1541-2 | D-4 |
| | ○ | 山内小学校 | 新石川1-20-1 | I-3 | ○ | 黒須田小学校 | 黒須田34-1 | H-3 |

想定条件
鶴見川水系：2日間で792mmの降雨

青葉区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地域の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。

雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なる場合があります。

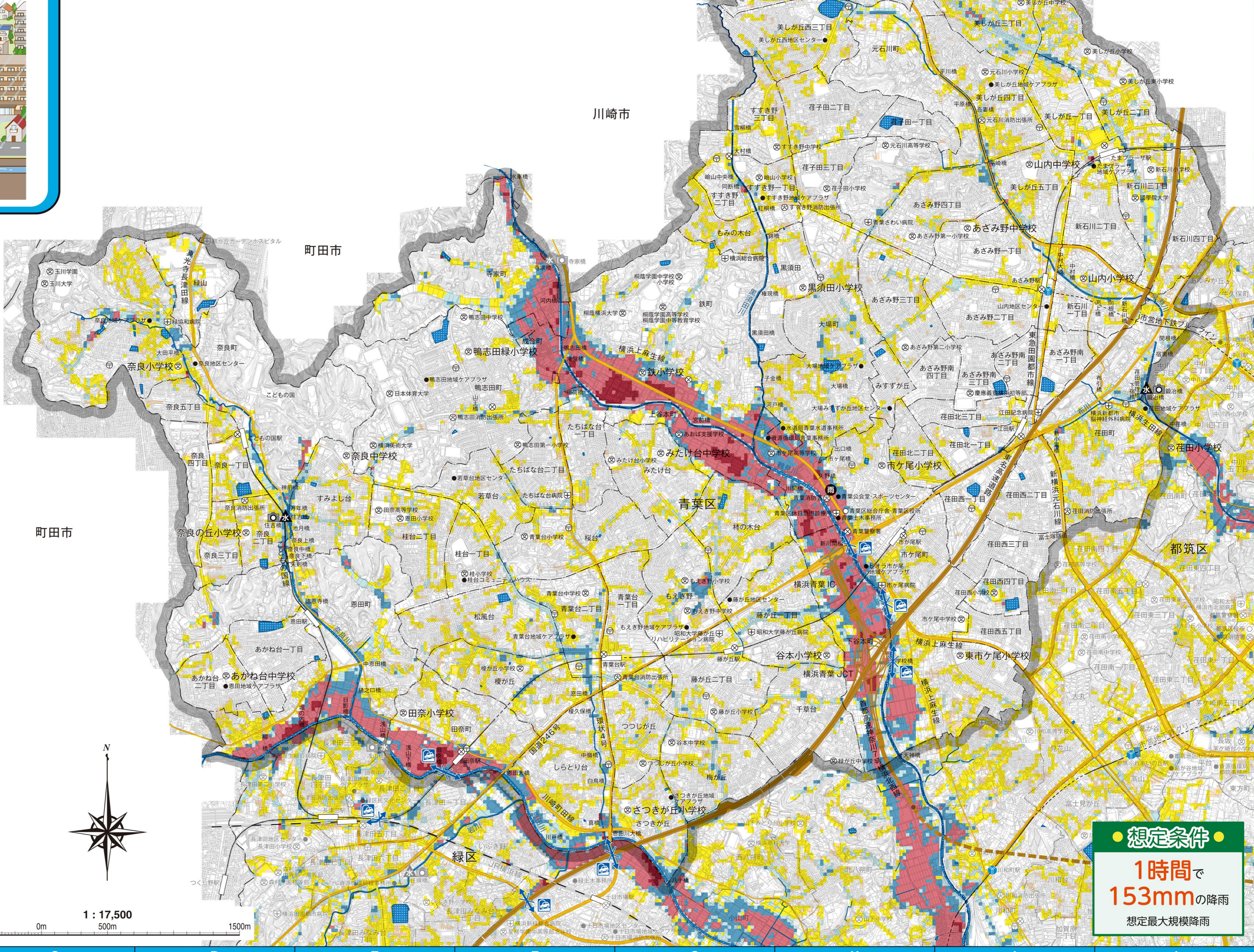
内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

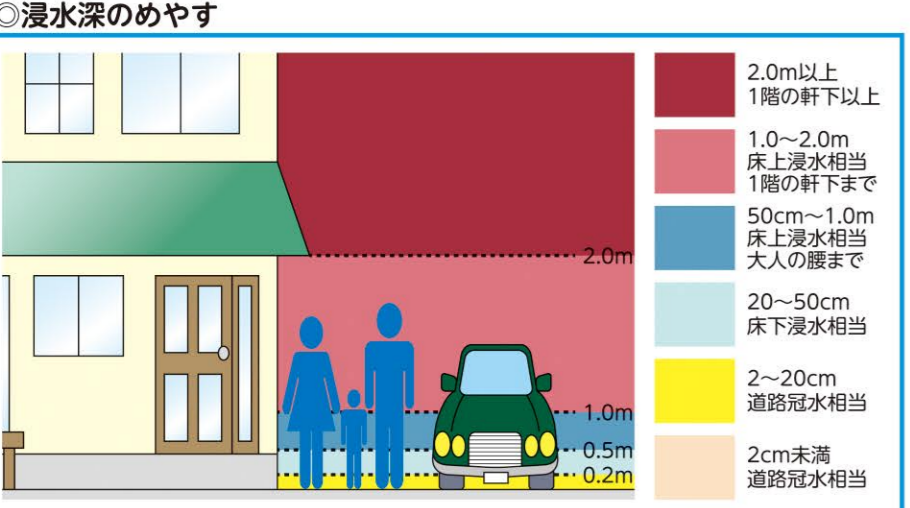
なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。

必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

情報	出典データ
青葉区	横浜市地形図測図承認番号 3 建設部第 9024 号 横浜市都市計画部都市基盤部データ (縮尺1:2500) により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 青葉区内水浸水想定区域 (令和3年4月)



凡例 (Explanatory Notes)



- 避難する際に注意する箇所
- アンダーパス

想定条件
1時間で153mmの降雨
想定最大規模降雨